

## ■＜参考資料＞中小企業診断士第2次試験の出題の趣旨

中小企業診断協会が公表している出題の趣旨です。

### 平成29年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ」の出題の趣旨

#### 第1問（配点20点）

創業後わずかな期間で高い業績をあげるに至った要因について、経営環境を考慮した上で分析する能力を問う問題である。

#### 第2問（配点20点）

同業他社に比べて少数の正規社員による効率経営を実現している事業の仕組み及び管理体制について、分析する能力を問う問題である。

#### 第3問（配点20点）

事業活動拠点の移設に伴う事業展開上の戦略的メリットについて、分析する能力を問う問題である。

#### 第4問（配点20点）

地域ブランドとして優位性をもつ主力商品の全国市場への展開がもたらす問題を分析し、それに対して適切な助言をする能力を問う問題である。

#### 第5問（配点20点）

非同族支配の中小企業であるA社が、「第三の創業期」といわれる新しい時代に向けて、どのような経営課題に直面しているのかを分析する能力を問う問題である。

以上

## 平成 29 年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅱ」の出題の趣旨

### 第 1 問（配点 20 点）

B 社の強みと、競合する大型スーパーや百貨店の現状を分析する能力を問う問題である。

### 第 2 問（配点 25 点）

データベースに登録された購買履歴や住所などを活用しながら新たな予約会を成功させる施策について、助言する能力を問う問題である。

### 第 3 問（配点 30 点）

地域内の需要の変化を踏まえて、中小建築業と連携しながらターゲット層の顧客生涯価値を高める施策について、助言する能力を問う問題である。

### 第 4 問（配点 25 点）

地域内の人口構成を踏まえて、新たなターゲット層を設定し、ターゲット層のニーズに応じた施策について、助言する能力を問う問題である。

以上

## 平成 29 年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ」の出題の趣旨

### 第 1 問（配点 30 点）

新規事業である CNC 木工加工機の生産販売を進めるために必要な生産管理上の課題を把握し、解決する能力を問う問題である。

### 第 2 問（配点 20 点）

新規事業である CNC 木工加工機が生産について、現在の生産能力の向上によって対応するために必要な生産業務上の課題を把握し、解決する能力を問う問題である。

### 第 3 問（配点 20 点）

新規事業である CNC 木工加工機の受注拡大に向けて、展示会での成功を参考とした潜在顧客を獲得するホームページの活用方法と、その潜在顧客を受注に結び付ける社内対応策について、提案する能力を問う問題である。

### 第 4 問（配点 30 点）

経営資源の脆弱な C 社が、高付加価値な CNC 木工加工機事業を推進するための製品やサービスに関する方策について、提案する能力を問う問題である。

以上

## 平成 29 年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

### 第 1 問（配点 25 点）

#### （設問 1）

財務諸表の数値に基づいて、企業間比較において D 社の財務状態を適切に評価するために必要な財務指標の値を求める能力を問う問題である。

#### （設問 2）

適切な財務比率に基づいて、同業他社と比較した場合の D 社の財務的な課題及び強みに関して評価する能力を問う問題である。

### 第 2 問（配点 18 点）

#### （設問 1）

一定の条件の下で予測損益計算書を作成することによって、利益計画に関する診断及び助言の基礎となる数値を計算する能力を問う問題である。

#### （設問 2）

新規事業の立ち上げに関する財務的な影響について予測資料を解釈し、それに基づいて新規事業に関する予測損益を計算する能力を問う問題である。

#### （設問 3）

新規事業の稼働水準の変化や売電単価の変化による損益への影響を分析することによって、新規事業のリスクを検討するための感度分析を行う能力を問う問題である。

### 第 3 問（配点 29 点）

#### （設問 1）

機械設備の更新によって生じる将来の差額キャッシュフローを予測することによって、設備投資決定に必要な財務数値を計算する能力を問う問題である。

**(設問 2)**

投資案の評価目的に適合した評価指標を選択し、これを計算したうえで、投資案の採否に関して適切な判断をする能力を問う問題である。

**第 4 問 (配点 28 点)**

**(設問 1)**

連結財務諸表から親会社と子会社のそれぞれの単体における損益状況を理解する能力を問う問題である。

**(設問 2)**

関連会社（持分法適用）が子会社（全部連結適用）となることによる連結財務諸表への影響を推定する能力を問う問題である。

**(設問 3)**

関連会社を子会社化することについて助言を求められた場合に指摘すべき事項についての理解を問う問題である。

以上